

<p>出品規定 (各部門共通)</p>	<p>※これまでに審査を受けていない未発表作品。 ※各部門ともガラス額装は使用不可とします。(プラスチック及びアクリル額装は使用可) ※壁面に掲示する作品は、<u>作品重量に耐えるヒートンと紐を必ず付けてください。</u> 紐切れ等による破損の責任は負いません。 ※展示時の安全性・安定性に不安がある作品は、下記の規定にかかわらず、不可とします。 ※出品点数は、各部門とも1人2点までとします。</p>
<p>出品規定 (部門別)</p>	<p>第1部 日本画(彩色・水墨ほか)</p> <ul style="list-style-type: none"> 作品の大きさは、8号～50号とします。長尺物は、面積換算して先サイズの範囲とします。 必ず額縁付きとし、額幅は片側6cm以内とします。 <p>第2部 洋画(油彩・水彩・パステルほか)・版画(木版・リトグラフ・セリグラフほか)</p> <ul style="list-style-type: none"> 洋画…作品の大きさは8号～50号とします。・版画…A4判～A1判とします。 洋画・版画ともに、必ず額縁付きとし、額幅は片側6cm以内とします。 <p>第3部 彫刻(塑像・木彫・石彫ほか)・立体造形(オブジェ・インスタレーションなど立体による自由な作品)</p> <ul style="list-style-type: none"> 底面積150cm×150cm以内、高さ200cm以内、重量100 kg以内とします。 出品目録に材質を必ず記入してください。 <p>第4部 工芸・グラフィックデザイン</p> <p>【工芸】(金工・陶芸・染織・木竹紙工・人形・七宝・漆芸ほか)</p> <ul style="list-style-type: none"> 壁面を使用する作品は、縦180cm×横140cm以内とします。 立体作品は、底面積150cm×150cm以内、高さ200cm以内、重量100 kg以内とします。 工芸作品は、出品目録に材質を必ず記入してください。 <p>【グラフィックデザイン】(手描き作品、デジタル作品)</p> <ul style="list-style-type: none"> A4判～B1判とします。 デジタル作品(静止画・プリントアウトしたもの)、手描き作品(コラージュも含む)、または併用も可とします。 額装またはパネル仕上げとします。また、既成作品の複製は不可とします。 <p>第5部 書道(書・篆刻・刻字)</p> <ul style="list-style-type: none"> 縦作品は、縦182cm×横85cm以内、横作品は横167cm×縦76cm以内とします。 作品寸法は、額装または枠の仕上がり寸法とします。(軸装は不可とします) 釈文を作品とともに提出してください。 <p>第6部 写真(フィルム写真・デジタル写真)</p> <ul style="list-style-type: none"> 単写真は、プリントサイズで半切～全倍以内とし、額又は枠のサイズを73cm×103cm以内とします。 組写真は、枠内の写真の大きさは自由とし、額又は枠のサイズを73cm×103cm以内とします。 著しいデジタル加工と認められたものは不可とします。
<p>留意事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> 出品作品は十分に保護しますが、不慮の災害、事故または搬出指定時間を過ぎたものについては、その責任を負いません。 著作権・肖像権や、盗作・類似作品などを含め問題が生じないよう留意してください。 上記に該当する場合は、作品の展示、審査結果を取り消す場合があります。また、当該事案に関する訴訟等には主催者は一切関知いたしません。 入賞、入賞作品の著作権は、市展開催中、事務局に帰属します。 入選・入賞した作品は、目録に氏名・題名を掲載するほか、今後の公的な目的をもつ刊行物に使用することがあります。また、目録は市ホームページにも掲載します。(入賞作品は写真も掲載します。) 出品目録等に記載された個人情報、上越市美術展覧会に関する業務以外には使用しません。なお、受賞者については、連絡先を報道機関に情報提供します。 新型コロナウイルス感染症の蔓延状況によっては、開催内容の変更や開催中止となる場合があります。
<p>開場式・表彰式</p>	<p>10月2日(日)午前9時30分～ 高田城址公園オーレンプラザ ホール前ロビー</p>
<p>無鑑査推薦</p>	<p>市展の同一部門において一定の成績をおさめた方を、無鑑査出品候補者として市展運営委員会に推薦します。</p>
<p>問合せ</p>	<p>上越市美術展覧会事務局(上越市教育委員会 社会教育課) 〒942-8563 上越市下門前1770番地(上越市教育プラザ内) Tel.025-545-9245</p>

審査員の推薦と決定について

1 選出方法

- ・運営委員は担当部門ごとに審査員1名の推薦をお願いします。
- ・6月16日(木)までに別紙「第51回上越市美術展覧会審査員推薦書」を事務局へご提出ください。
- ・各部門の運営委員と事務局で審査員を決定します。

2 審査員日程(予定)

令和4年9月23日(金・祝)

時間	内容	会場
～午後0時15分	送迎 (上越妙高駅もしくは高田駅～ オーレンプラザ)	(移動) <上越妙高駅> 東京駅発 → 上越妙高駅着 11:24 金沢駅発 → 上越妙高駅着 11:59 <高田駅> 新潟駅発 → 高田駅着 11:43
午後0時15分～ 1時15分	昼食 (事務局でお弁当を手配)	オーレンプラザ 楽屋
午後1時15分～ 1時45分	審査員・運営委員顔合わせ	オーレンプラザ 多目的室
午後1時45分～ 1時55分	各審査会場へ移動	(移動)
午後2時～ 5時30分	作品審査	各審査会場 オーレンプラザ/ミュゼ雪小町
(午後3時30分～ 4時30分)	作品講評会	
(午後4時30分～ 5時30分)	講評原稿執筆	
午後5時30分～ 5時40分	懇親会会場へ移動 到着後、ホテルチェックイン	(移動)
午後6時～ 6時20分	審査員講評	アートホテル上越 11F 妙高
午後6時30分～	懇親会	

3 謝礼について

審査員謝礼 90,000円(税込) ※後日、指定口座へ振込(源泉所得税控除対象外)

4 交通費・宿泊費等について

- ・審査当日の宿泊費と往復の交通費(ご自宅の最寄駅～発着駅までの費用)は市の旅費規程に基づきお支払します。※切符等の手配は各審査員にお願いします。
- ・宿泊場所は、「アートホテル上越(上越市本町5-1-11)」を予定しています。
- ・9月23日(金・祝)の夕食(懇親会)は事務局で用意します。
- ・9月24日(土)の朝食は宿泊費に含まれます。

上越市美術展覧会 審査員一覧表

	50回 (R3)	49回 (R1)	48回 (H30)	47回 (H29)	46回 (H28)	45回 (H27)	44回 (H26)	43回 (H25)	42回 (H24)	41回 (H23)
日本画	倉島 重友 <small>日本美術院同人 広島市立大学名誉教授</small>	倉島 重友 <small>日本美術院同人 広島市立大学名誉教授</small>	海老 洋 <small>創画会会員 東京藝術大学准教授</small>	海老 洋 <small>創画会会員 東京藝術大学准教授</small>	澤野 慎平 <small>日展会員</small>	山下 保子 <small>日展会員</small>	清水 由朗 <small>日本美術院同人</small>	清水 由朗 <small>日本美術院同人</small>	由里本 出 <small>日展評議員</small>	小西 通博 <small>創画会会員</small>
	藤嶋 俊會 <small>美術評論家</small>	藤嶋 俊會 <small>美術評論家</small>	大倉 宏 <small>美術評論家</small>	司 修 <small>画家、小説家 法政大学名誉教授</small>	藤嶋 俊會 <small>美術評論家</small>	司 修 <small>画家、小説家、法政大学 名誉教授</small>	木津 文哉 <small>東京芸術大学 教授</small>	藤嶋 俊會 <small>美術評論家</small>	後藤 學 <small>喜多方市美術 館館長</small>	藤嶋 俊會 <small>美術評論家</small>
彫刻・ 立体造形	中村 義孝 <small>一陽会運営委員 筑波大学名誉教授</small>	中村 義孝 <small>一陽会運営委員 筑波大学名誉教授</small>	原 透 <small>国画会会員 日本美術家連盟委員</small>	原 透 <small>国画会会員 日本美術家連盟会員</small>	中村 義孝 <small>筑波大学教授</small>	笠原 鉄明 <small>国画会会員</small>	宮崎 甲 <small>千葉大学教授</small>	宮崎 甲 <small>千葉大学教授</small>	峯田 敏郎 <small>国画会会員・上越 教育大学名誉教授</small>	峯田 敏郎 <small>国画会会員・上越 教育大学名誉教授</small>
	太田 公典 <small>瀬戸陶芸協会会長 愛知県立芸術大学 名誉教授</small>	太田 公典 <small>瀬戸陶芸協会会長 愛知県立芸術大学 名誉教授</small>	山村 慎哉 <small>金沢美術工芸 大学教授</small>	山村 慎哉 <small>金沢美術工芸 大学教授</small>	松本ヒデオ <small>京都精華大学 名誉教授</small>	松本ヒデオ <small>京都精華大学 教授</small>	金子 賢治 <small>茨城県陶芸 美術館長</small>	金子 賢治 <small>茨城県陶芸美 術館館長</small>	唐澤 昌宏 <small>東京国立近代 美術館工芸課 長</small>	唐澤 昌宏 <small>東京国立近代 美術館工芸課 長</small>
工 芸	太田 公典 <small>瀬戸陶芸協会会長 愛知県立芸術大学 名誉教授</small>	太田 公典 <small>瀬戸陶芸協会会長 愛知県立芸術大学 名誉教授</small>	山村 慎哉 <small>金沢美術工芸 大学教授</small>	山村 慎哉 <small>金沢美術工芸 大学教授</small>	松本ヒデオ <small>京都精華大学 名誉教授</small>	松本ヒデオ <small>京都精華大学 教授</small>	高木 基充 <small>大同大学教授</small>	今尾 泰三 <small>愛知県立芸術 大学准教授</small>	今尾 泰三 <small>愛知県立芸術 大学准教授</small>	高木 基光 <small>大同大学教授</small>
グラフィック デザイン							岡村 鉄琴 <small>越佐文人研究会代表 新潟大学教授</small>	原田 幹久 <small>花園・佛教大学講師 漢字文化研究会代表</small>	加藤 東陽 <small>東京学芸大学名誉教 授 日展会友</small>	蓮見 行廣 (雅号 光春) <small>東洋大学教授</small>
書 道	林 義勝 <small>日本写真家協会会員</small>	清水 哲朗 <small>日本写真家協会会員</small>	熊切 大輔 <small>日本写真家協会会員</small>	大西 みつぐ <small>日本写真協会会員 大阪芸術大学 客員教授</small>	大西みつぐ <small>大阪芸術大学 客員教授</small>	ハービー・山口 <small>日本写真家 協会会員</small>	ハービー・山口 <small>日本写真家 協会会員</small>	熊切 圭介 <small>日本写真家協 会副会長</small>	熊切 圭介 <small>日本写真家協 会副会長</small>	沼田 早苗 <small>写真家、国連UNHCR 協会評議員</small>
写 真	林 義勝 <small>日本写真家協会会員</small>	清水 哲朗 <small>日本写真家協会会員</small>	熊切 大輔 <small>日本写真家協会会員</small>	大西 みつぐ <small>日本写真協会会員 大阪芸術大学 客員教授</small>	大西みつぐ <small>大阪芸術大学 客員教授</small>	ハービー・山口 <small>日本写真家 協会会員</small>	ハービー・山口 <small>日本写真家 協会会員</small>	熊切 圭介 <small>日本写真家協 会副会長</small>	熊切 圭介 <small>日本写真家協 会副会長</small>	沼田 早苗 <small>写真家、国連UNHCR 協会評議員</small>

作品鑑賞会の日程、講師について

1 講師

部門ごとに運営委員1名を選出ください。

2 謝礼について

解説謝礼・・・3,000円

3 開催日

市展会期中の土日・祝日（各部門1時間程度1回）

- ① 10月2日（日） 13:30～14:30、14:30～15:30
- ② 10月8日（土） 11:00～12:00、13:30～14:30、14:30～15:30
- ③ 10月9日（日） 11:00～12:00、13:30～14:30、14:30～15:30
- ④ 10月10日（月・祝） 11:00～12:00、13:30～14:30、14:30～15:30

4 その他

- ・ 講師としてご選出いただいた方は、別紙「作品鑑賞会の日程、講師 報告用紙」に、鑑賞会の希望日程（第2希望まで）をご記入ください。
- ・ 6月16日（木）までに事務局へ用紙をご提出いただくか、電話連絡をお願いします。（Fax可：025-545-9272）

作品鑑賞会の日程、講師 報告用紙

部門： _____

講師（氏名）： _____

	10月2日 (日)	10月8日 (土)	10月9日 (日)	10月10日 (月・祝)
11:00～12:00				
13:30～14:30				
14:30～15:30				

第1希望の日時へ ①

第2希望の日時へ ②

※6月16日（木）までに提出くださるようお願い申し上げます。（FAX可：025-545-9272）

上越市美術展覧会 ポスターについて

1 第51回市展のポスターについて

▶昨年度、節目の50回記念だったことや制作期間を踏まえ、「案3」をたたき台とし、正副委員長と事務局で相談しながら進める。

2 第52回市展以降のデザインについて

▶どのようなデザインにするかや部門ごとの輪番制にするかなど、今回の運営委員会での意見を踏まえ、令和4年度第3回運営委員会での検討事項とする。

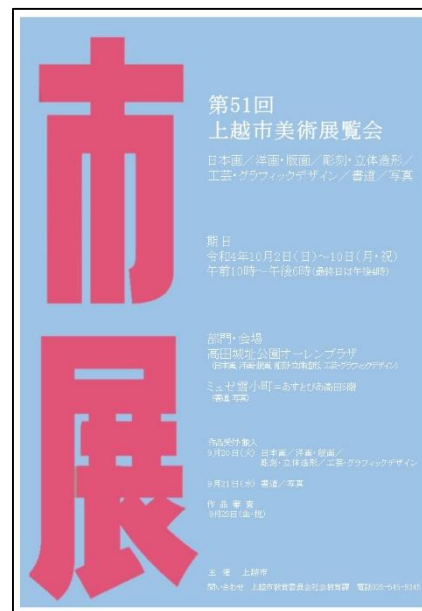
案1 市展のロゴを使用



案2 前回市展の目録掲載作品1点を使用



案3 全部門の前回市展賞の作品を使用



他自治体等の美術展覧会におけるポスターデザインについて

■パターン1

- ・汎用性のあるデザインを採用
- ・背景色の変更などマイナーチェンジのみ

(例) 妙高市展、柏崎市展、米子市展、県展、日展、国展

■パターン2

- ・メインビジュアルは各部門で輪番制
- ・デザイン作成は各部門の委員と業者が直接打合せを実施

(例) 新潟市展、長岡市展

■パターン3

- ・前年度の各部門の最優秀作品を表紙に採用

(例) 鈴鹿市展

■パターン4

- ・毎年、ポスター用デザインを作成

(例) 浜松市展、高知市展、豊岡市展、西宮市展